

第 1 7 回 議会報告会概要一覧

班	開催月日	開催時間	場 所	出席者数
1	11 月 7 日(日)	14:00～16:00	イーストピア宮古 市民交流センター（宮古地区）	2 3 名
2		14:00～16:00	田老公民館（田老地区）	1 0 名
3	11 月 14 日(日)	14:00～16:00	新里生涯学習センター（新里地区）	8 名
4		14:00～16:00	川井生涯学習センター（川井地区）	1 4 名
議運	11 月 10 日(水)	14:00～16:00	下町公民館（津軽石）	2 0 名
			5 ヲ所	7 5 名

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：令和 3 年 1 1 月 7 日（日） 14 時 00 分～16 時 00 分 会場： イーストピアみやこ	2 3 名	〔 1 班 〕 松本尚美（班長）、白石雅一、 落合久三、田中尚、工藤小百合
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
市役所の駐車場はゲート管理となっているが、日中はゲートを開放して通過させてはどうか。	限られたスペースを無関係な車が占有しないようにするという点では、管理上必要なことだと考える。駐車料金については、市主催の催しでは、基本無料処理をしている。こうした意見が出たことは、市に伝えたいと思う。	
田老駅に待合場所が無く、道路も暗い。これをどのように考えているのか。	意見として当局に伝える。	
旧田老総合事務所跡地付近の避難道路が暗いので避難誘導灯を付けてほしい。	要望として当局に伝える。	
崎山の簡易郵便局前のカーブで事故が発生していて、地域住民からは危険視する声が出ている。何らかの安全対策がとれないか。	注意喚起の看板の設置や、安全運転の呼びかけなどの措置が考えられると思う。地域の要望として伝えたい。（要望）	
市役所駐車場から出て、南側の国道（106号）へ出るところの交差点が大変合流しづらいので、信号機を設置してほしいと前回の議会報告会で要望した。その後どうなっているか。	昨年、市の担当部局に伝えているが、現状を把握して、後日、質問者に回答することとした。（後日対応）	
本市の介護サービスは、グループホームやデイサービスなど充実していると思うが、高齢者の在宅医療には不安がある。高齢になっても自宅にいたいという人向	本市では医療資源が不足しており、在宅医療を提供できる体制にないのが現実である。全国共通の課題であり、地域包括支援センターを運営する社会福祉協議会や、市	

けに、訪問医療に市の力を割いてほしいと思うが、議員の考えはどうか。	の医師会などと連携して取り組むべきだと考える。
市は現在、タグボートを常駐させ年間数千万円の費用を負担しているが、フェリー再開の見通しはあるか。費用をかけ契約しておくメリットはあるのか。ほかの費用にあててはどうか。	タグボートの常駐費用を他の事業に回すべきという意見は、議会の中でも出ている。しかし川崎近海汽船は、フェリー就航の条件としてボートの常駐を挙げていて、一方、岩手県はフェリー航路が再開されない限りタグボートの費用は負担しないという方針である。こうした状況のなか市ではフェリー再開、大型の客船や貨物船の受入のために、単独で費用を負担し、ボートを常駐させる判断をしており、市議会としても様々な意見があったが、やむなしという判断で予算の議決に至ったものである。
田老港にあった「さわやかトイレ」が震災以降無くなり不便である。	要望として当局に伝える。
鉾ヶ崎の道路は、防潮堤の築堤や、かさ上げの工事によってひどい状態である。	前須賀日立浜の道路は高低差があり、大雨が降ると水が溜まる場所ができています。市当局も問題視しており、現在、国の補助金により実施されている工事で解消されるものと思う。
末広町の無電柱化工事の費用は、市の単独で行っているのか。国、県、電気事業者などは費用を負担していないのか。	電柱の地中化は、国の補助金により行っている事業である。
鉾ヶ崎公民館が避難所になっているが、近くに川が流れていて、台風の時などは水があふれそうになる。そうした場合には、近くの分団屯所の2階に移動するが、高齢者にとって垂直避難は辛いと思う。こうした心配のない鉾ヶ崎小学校を再度、避難所に指定できないのか。	もともと避難場所が熊野神社で、避難所が鉾ヶ崎小学校だった。市は小学校の裏山に崩落の危険性があるため、避難場所を変更したという説明をしているが、防潮堤の整備などで周辺の地形も変わっているため、過去と状況が違う面もある。安全な避難所を再考してほしいという声は、市に届けることとしたい。(要望)
県立高校の再編計画について、商業高校と工業高校が宮古商工となり、さらに水産高校も統合しようという動きがある。普通科高校である宮古高校、北高校は再編せず、実業系のみを一つにすることについて、特別な理由があるのか。	学力の不足や、不登校などにより、宮古高校に入学できない生徒の受け皿として、北高校が機能している部分はあると考える。また、地元の要望なども理由として考えられる。
津軽石地区の水道水に異臭が発生し、その後化学物質が検出された問題について、市は水道水の取水先を閉伊川水系にする方針などを示している。現在、調査中ということだが、議会に説明はされているのか。 ガソリンスタンドは現在営業していて、自分たちが直接の原因であることは、目下調査中としていて、認めていないように思われる。地域では健康被害と思われる症状も出ているが、病院にかかっても、化学物質との因果関係は分からないと言われている。	水道事業所の説明では、同事業所が管理する津軽石地区の浅井戸に、周辺のガソリンスタンドから、化学物質が漏れ出たことが原因とのことである。取水先の変更については費用がかかることであるため、実施の可否も含めて、現在検討中とのことである。ガソリンスタンドは休業中と聞いている。 現在異臭は収まっているが、すでに漏れ出た分の科学物質が完全に除去されたかは不明であり、津軽石川の伏流水への影響を避けるには、さらに深いところか、別な水系から取水する必要がある。そういった対策について急ぎで調査していると理解いただ

	ければよいと思う。 水道事業所から議会への説明から時間が経過した部分もあるので、水道事業所の調査等の進捗状況、会社側の対応、安全な水の確保の３点については確認をして、質問者に回答することとしたい。
期日前投票の送迎バス運行だけでは投票に結びついていないのではないか。バスを使った移動投票所を検討してはどうか。	要望として当局に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：令和３年１１月７日（日） 14時00分～16時00分 会場：田老公民館	10名	〔２班〕 加藤俊郎（班長）、高橋秀正、伊藤清、 畠山茂、木村誠

日時	令和３年１１月７日（日） 14時00分から16時00分まで	
場所	田老公民館	
出席議員	加藤俊郎（班長）、高橋秀正、伊藤清、畠山茂、木村誠	
質 疑 ・ 意 見 等		答 弁
地域創造基金の見直し時期が約３年後であるが、今から議論を始めるべきではないか。		意見として当局に伝える。
田老地区を走る患者輸送バスについて一般の住民も利用できるようにしてほしい。		現在、川井地区・新里地区では地域バスの運行が始まり、診療所への移動の他に一般住民が乗れるようになっている。田老地区での予定は示されていない。
森林経営管理計画の進捗度についてどのようなになっているのか。		当局に伝える。
移転元地等の利活用計画の状況はどうなっているのか。		当局に伝える。
防災ハザードマップの最新版がはやく欲しい。		要望として当局に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：令和3年11月14日（日） 14時00分～16時00分 会場：新里生涯学習センター	8名	〔3班〕 佐々木重勝（班長）、長門孝則、西村昭二、小島直也、藤原光昭
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
旧和井内小学校の校庭の木の伐採をして欲しい。	要望として当局に伝える。	
現在ある廃校舎の利活用についてどうなっているのか。	旧川井西・茂市小学校は利活用したいという企業がある。市と調整しているところと聞いている。	
再生可能エネルギーの現状と将来像はどのようなになっているか。	現在、赤前・田老・区界などにメガソーラーがある。今年度、総務常任委員会でエネルギー政策について市に提言する予定である。	
茂市の公民館の解体をして欲しい。	要望として当局に伝える。	
太長根地区のＪＲ山田線の法面の草・木・竹の管理が酷い。定期的に除伐して欲しい。	要望として当局に伝える。	
ＪＲ茂市駅の利便性が悪い。西側からも利用できるように改善し、現在の暗い構内を、街灯を増やすなどして明るくして欲しい。	要望として承り、当局からＪＲに伝える。	
シカなどによる農作物への鳥獣被害をどうにかして欲しい。	市では様々対応しているが実働部隊の猟友会の高齢化問題が深刻である。農家の皆様も自ら罠免許を取得してみてはどうか。	
担い手不足、耕作放棄地問題が深刻である。議員も10年後の農家を想像し問題を共有してもらいたい。	日頃からこの問題を取り上げていて当然共有している問題である。	
昨年度、太長根地区の水害対策について要望したが、築堤の実現は困難という県からの回答と聞いている。地区民として閉伊川が増水するたびに水害を受けて安心して住めない。現地を見て、さらに強く働きかけてほしい。	11月22日建設課と現地視察。その後、建設課が県と交渉し今後対策を検討するとの回答があった。	
太長根の閉伊川河川敷のゴミ・流木を撤去して欲しい。	要望として当局に伝える。	
刈屋川支流の倉の沢の砂防ダムが土砂が堆積して機能していない。事前防災の観点から整備して欲しい。	要望として当局に伝える。	
太長根地区の側溝の泥上げが大変だ。市で対応して欲しい。	要望として当局に伝える。	
茂市の106号線と市道の接続地点の道路整備の話があったがやめて欲しい。	議会としては何の説明も聞いていないが、確認するし意見として承る。	
国道340号線の決起集会はポーズ・パフォーマンスにしかみえない。無駄ではないか？	集会をやめた場合、地域の声はないものと扱われる。地域の熱意を伝えるために、今後も続ける必要がある。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：令和3年11月14日（日） 14時00分～16時00分 会場：川井生涯学習センター	14名	〔4班〕 橋本久夫（班長）、坂本悦夫、鳥居晋、佐々木清明、竹花邦彦
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
廃校舎利活用の議会提言に対する市の対応はどうなっているか。	8月に、市から廃校舎利活用の取り組み状況の報告を受けている。川井地区では、旧川井西小は盛岡市の民間企業から問い合わせがあり対応中としている。旧江繋小学校は、建物の老朽化が著しく解体の方針、旧川井給食センターは市でジビエ事業利用を検討したが断念し、利用公募中としている。旧門馬小学校は、地域から要望書が提出され、市は地域と協働で地域振興や地域拠点施設としての利活用を検討するとしている。	
宮古盛岡横断道整備によってやまびこ館の役割は重要になっている。利用客も増えている。漆塗り工芸館では工芸品等の販売はできないのか。	漆塗り工芸館は市直営の公共施設で、販売行為はできない。	
NTTの電柱が倒れそうになっている。NTTに連絡してもなかなか来ない。	直接NTTに連絡し督促して欲しい。	
小国地区で、田舎暮らしの拠点や、移住者受け入れ施設として、空家の教員住宅を活用したいと考え、現在、市に要望している。議会にも側面的支援をお願いしたい。	要望として当局に伝える。	
月に3回程度、JR山田線で盛岡に行っているが、シカとの衝突や落ち葉によるスリップで列車が1時間も遅れる。定時運行ができていない。観光等利用客の宮古市に対するイメージもマイナスになる。山田線を利用する無人駅では、降車時に乗務員が切符をいちいちもらっている。切符箱等に入れるようにすれば済む。運行時間短縮にもつながる。改善すべきだ。	昨年の議会報告会でも、発言者から同じ意見が出された。議会はこれを受け止め、議会報告資料のとおり、JR山田線の定時運航の確保について市長にJRに対して働きかけを行うよう要望書を提出した。スリップ等がなかなか改善されていない現状にあるが、要望に対し議会対応していることは理解をいただきたい。	
旧門馬小学校は解体し、出張所を整備するという話を市から聞いている。	議会はまだ具体的な報告を受けていない。情報提供をいただいたことに感謝する。	
川井地区の保育園、小学校、中学校の子育て環境をもっと充実し、地域が過疎化にならないように市は対策すべきだ。	（意見）	
川内地区の熊の目撃情報と被害状況を資料（別紙）として準備した。市はなぜ熊の駆除をしないのか。何を持って駆除対象としているのか。人的被害がなければ駆除しないのか。（※目撃情報を報告しても駆除しないのでムダとの認識から、市	鳥獣保護法等によって駆除が規制されている。駆除等の基準については市担当課から確認し、後日発言者に回答する。 ⇒11月18日 担当課長より聴き取りを行い、11月21日に質問者へ電話回答。	

等には伝えていないとのこと。)	
閉伊川河川区域内に繁茂する立木の伐採について、県は地域で自由に伐採できるようにした。やまびこ館から下流 2 km の旧道沿いをボランティアで伐採等を行っているが（チェンソー等の）燃料費ぐらいは出してほしい。	意見として伺う。
消防団員の報酬等を団長（代表）振込みから団員に振込みする動きとなっている。 団長振込みで分団の運営費として利用することができてきたが、それが困難となる。市で分団運営費を出すことができないか。要望して欲しい。	宮古市消防団で議論、協議はされているのかとの議員側の質問に、発言者からは幹部会で意見を出したがまとまっていないとの回答であった。 個別分団の要望事項とするのではなく、市消防団として意見集約を図り対応すべき問題ではないかと指摘。発言者は了解。
川井小学校と新里小学校との統合の話が聞こえてくるが、統合は事実か。	川井小学校と新里小学校が統合するという話は聞いていない。
川井小学校の放課後子ども教室は、以前の月・火曜日から月～水曜日に延長実施されたが、学童保育と同じように木、金曜日にも実施して欲しい。放課後教室では子供を預けることができず、新里や盛岡に引っ越しする共稼ぎ世帯もある。	11 月 19 日、市教育委員会（生涯学習課）から状況を聞き取り。 学童保育は利用者が限られ費用もかかるため、地域の意向で放課後子ども教室を拡充してきた経緯があるが、平日全てを実施することは、実質、学童と変わらなくなり公平性の点で問題があるとの認識を示された。
18 歳～30 歳ぐらいまでの青少年教育、勉強の機会をつくり、賛成・反対だけでなく、議論を尽くす中で妥協点を見出すことを訓練させるべきだ。	意見として伺う。
除雪の際、家の前に雪が置かれて困る。家の前は取り除くように要望する。	同様の声はよく聞かれる。要望は理解できるが、除雪の効率的作業面で難しい点もあるのではないかと。意見・要望として受け止める。
宮古・盛岡横断道と 106 号の交差点で危険箇所が見られる。カーブミラーを設置してもらった箇所もあるが、冬季時期はカーブミラーも凍って対向車が見えない。事故が起きてからでは遅い。よく見られる「対向車が接近」というような電気標示機器を設置して欲しい。	地域づくり協議会で議論し、とりまとめすべき課題と指摘。（発言者は、地域づくり協議会に話すということでした承）

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：令和3年11月10日（水） 14時00分～16時00分 会場：津軽石下町公民館	20名	議会運営委員4名（橋本久夫、竹花邦彦、佐々木清明、西村昭二）
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
赤前に畑を所有しているが、未利用農地が増えている。再生可能エネルギーに利用できないか。	市では再生可能エネルギーの発電事業についても、住宅等の屋根を利活用することを含め進めようとしている。農地所有者の方々と協議し、同意が得られるならば、太陽光発電について市に申し入れしたらどうか。	
市の福祉課に行った際、受付・手続等に1時間半かかった。担当者が不在等の理由で6人位たらいまわしにされた。市職員の対応に不信感を持った。	【対応済み】 議会運営委員より、福祉担当部長・課長に対応の改善を求めた。	
少子高齢化が進んでいる。若者が定着、定住するためには働く場所が必要。藤原ふ頭の工業用地もホクヨーが立地して以降、企業立地がない。企業誘致を進めるべきだ。	企業誘致等を進め、働く場を創出していくことは重要な課題となっている。現在、金浜地区に食品加工業2社が国の津波補助金を活用して立地を検討中だ。田老でも養豚場立地の話があり、住民説明会が進められている。 当市は企業誘致受け皿の課題として、①工業用地が整備されていないこと。藤原ふ頭用地は海に隣接し、塩分を避ける必要がある業種は立地できない、ふ頭用地の単価が高いという指摘もある。②誘致企業が必要とする人材が確保できるかという課題もある。これらの課題を克服していくことも重要と考える。	
津軽石小学校の裏山の立木伐採するための作業道が土砂崩れを起こしている。	【対応済み】 11/19 飛澤農林課長に、議会報告会で話された内容を伝え、指導強化を要望した。	
馬越川の河川（排水路）整備について 三陸道ができてから、馬越川、大森川に雨水排水が集中して流れてくるようになった。馬越川から排水があふれ、パーマ屋、（長洞美容院）が浸水、中島健輔宅前の畑に土砂や立木が流れてきている。住宅被害が出ないよう河川整備を実施して欲しい。	【対応済み】経過は以下の通り 11/10 現地確認（議運） 11/25 市建設課長と協議 <結果> 11/14に去石建設課長が現地を確認。整備する方向で対応するとの回答。	
大森川救急内水排水機場の取水口改修について 稲荷橋そばの県土木センター管理のポンプ場（大森川救急内水排水機場）に3基のポンプが設置されているが、取水口が高く、水深がかなり高くなると動かない。ポンプが稼働する頃には、一帯が浸水している危険性がある。	【対応済み】経過は以下の通り 11/18 現地確認（議運） ※下町町内会の佐々木優会長によれば、県土木センターの根城主任が11/15に現地確認したとのこと。 11/25 市建設課長と協議 <結果> 市建設課から県土木センターに対応を要	

台風 19 号では、大森川や馬越川だけでなく荷竹、弘川、根井沢からの雨水が新町、木澤医院前を流れ、下町も床上浸水等の住家被害を受けた。近年の大雨被害を考えると、ポンプが速く稼働（取水口レベルを下げる）できるように市から県に改修要望をして欲しい。	望し、県も改修の必要性は認識しているとのことである。ポンプメーカーとの協議や技術的課題等を検討し、対応するとしている。
三沿道パーキングエリアのゴミ捨て防止等について 三沿道津軽石パーキングのゴミ捨て防止等に係る意識喚起方策について、市から管理者の三陸国道事務所に要望して欲しい。	【対応済み】経過は以下の通り 11/10 現地確認（議運） 11/25 市建設課長と協議 ＜結果＞ 市から、三陸国道に対し現状を報告してもらい、注意喚起等の対応を行うよう要請してもらうことになった。
津軽石川の浚渫を継続して欲しい。	閉伊川、津軽石川等の浚渫については市、市議会でも県に要望している。継続的な浚渫が必要であり、議会としても引続き取り組む。
日本海溝大地震が起きると言われている。対策は大丈夫か。	日本海溝・千島海溝大地震による津波浸水シミュレーションが公表されているが、防潮堤が破壊される前提での浸水想定であり、この前提に疑問の意見も出されている。東日本大震災発災後、防潮堤整備が進められたが、東日本大震災クラスの津波を想定したものではなく、これまで日本で起きた 2 番目に高い津波を防ぐ防潮堤整備で、宮古湾は 10.4m の高さになっている。日本海溝地震発生で防潮堤を超えることはあり得る。したがって、ハード対策に依存せず、まず避難することが必要である。
避難路について ①三沿道パーキング（山田・釜石方面）に上がる避難路階段が高齢者にはきつい。また、実際の災害時にはパーキングに休めるところもない。変電所の山側～盛合家裏山を通して津軽石公民館や三沿道パーキングに行く避難路を整備して欲しい。 ②津軽石公民館側から三沿道パーキング（山田・釜石方面）に、三沿道から津軽石公民館に避難できるように、三沿道脇のネットフェンスに開閉扉等を設け、通り抜けられるようにして欲しい。	【対応済み】経過は以下の通り 11/10 現地確認（議運） 11/18 現地確認（議運） 11/25 市建設課長・危機管理課長と協議 ＜結果＞ ①津軽石公民館は津波の浸水想定区域内であり、津波の避難所には指定していない。 ②三沿道パーキングネットフェンス開閉扉設置について、市（建設課）から管理者の三陸国道に要望する。